

WAFCAホッ!とニュース

★第159号★2017/11/30 発行



WAFCAへの
連絡はコチラ
からどうぞ。

〈発信〉認定NPO法人アジア車いす交流センター(WAFCA)
住所 〒448-0834 愛知県刈谷市司町1-2 ふれあいプラザゆうきそう内
TEL 0566-23-5822(内線5990-200) FAX 0566-23-5827(内線5990-900)
E-mail ZC8WAFCA@denso.co.jp URL <http://wafca.jp> もチェックを!
※所属などの変更の際はお知らせください。またこのニュースはE-mailアドレスを
お持ちでない方に送付しています。アドレスをお持ちの方は上記までご連絡下さい。

☆☆☆ 目次 ☆☆☆



- [1] タイ
第1回アジア子ども絵画展 2017 開催
- [2] 日本
安城特別支援学校「あんJOYフェスタ」出展
- [3] タイ
フレンドシップツアー2017 開催
- [4] インドネシア
デイリーヘルスケア トレーニング実施

[1] タイ 第1回アジア子ども絵画展2017開催 (10/31-11/5) ～タイと日本障がい児の絵画を通じた交流～

バンコク芸術文化センターにて、WAFCAタイランド(WAFCAT)主催の第1回アジア子ども絵画展が、愛知県立安城特別支援学校前校長でWAFCAの藤原孝太郎理事が中心となり開催されました。国際交流事業の1つとして、絵画や芸術を通し、国を超えて障がいのある子どもたちが持つ可能性や才能をもっと社会に広く知ってもらう目的で、タイと日本の障がい児の作品35点を展示しました。

初日の記念式典には駐タイ佐渡島日本国大使にもご出席いただけ、訪タイした安城特別支援学校卒業生の川部 浩さんからは自身の絵を大使館と国際交流基金へ贈呈しました。そしてWAFCAおよびWAFCAT理事長も出席し、来場者の皆さんへ挨拶しました。絵画展は日タイ修好130周年記念事業として国際交流基金バンコク日本文化センターからの助成金や刈谷ロータリークラブ、R&Oリハビリ病院グループ有志一同の皆様、個人の方からのご寄付により開催し、11/3(金)の中日新聞にも掲載されました。



初日の記念式典



WAFCA 藤原理事とタイの生徒



川部 浩さんと WAFCA 榎田理事長



会場で富士山を描くタイの生徒



展示した絵



川部 浩さんが描いた絵

[2] 日本 安城特別支援学校「あんJOYフェスタ」出展。子ども絵画展の絵も展示(11/24-25) ～企画から運営までボランティアによる実行委員で執り行いました～

安城特別支援学校で行われた文化祭「あんJOYフェスタ」にブース出展させていただきました。安城特別支援学校とタイ・ロップリーパンヤヌグーン特別支援学校の姉妹校締結を仲介したことから交流がスタートした安城特別支援学校とWAFCA。今年は企画段階から社会人・学生による実行委員を組織して参加しました。出展内容は実行委員で協議し、「輪投げ」、タイ語にチャレンジする「タイ語教室」、WAFCA 活動紹介、姉妹校締結の歴史などを掲示。



展示された絵を説明する様子

そして先日バンコクにて開催された「アジア子ども絵画展」で展示された、タイの特別支援学校生徒と安城特別支援学校生徒・卒業生の絵画も展示させていただきました。文化祭中には在校生でアジア子ども絵画展でも絵が展示された三河秀人さんも来てくれました。輪投げやタイ語教室を通じた生徒の皆さんとの交流、そしてたくさんの保護者や関係者の皆様に絵をご覧いただき盛況な企画となりました。



実行委員のお二人と展示の様子



三河さん(左)と三河さんが描いた絵(ウーカ)

[3] タイ 第17回フレンドシップツアー開催（11/16-20） ～バンコクを中心にボランティア活動しました～

今回のツアーは「～ゆったり～ゆっくり～」をテーマにベテランリピーターの方を中心に、3名の新規参加者を迎え実施しました。期間中は、タイと言えど11月とは思えない35℃前後の猛暑の中、特殊教育センターの朝礼に参加し、子ども達と体操やゲームを実施。WAFCAT設立時よりタイでの車いす提供を共に歩んだタイウィールにて車いすの組み立て体験や、クロントイスラムでは恒例の車いす修理活動に汗を流しました。



朝礼でゲームをする障がい児とツアー参加者(左)



クロントイスラムでの車いす修理活動

また同スラム内にて子ども達向けの図書館を運営しているシーカーアジア財団にて「世界一大きな絵」を子ども達や財団の職員、バンコク日本人学校の先生方と共に描きました。この絵は後日、障がい児(者)が通う別の学校、施設にて残りの部分を描き、完成時は5m x 1mの布を繋ぎ合わせ、5m四方の大きな絵となります。

絵のアイデアと下絵は県立安城特別支援学校卒業生の川部浩さん、WAFCAの藤原理事にご尽力頂きました。来年5月には羽田空港スカイギャラリーで、8月にはモリコロパークで披露する予定です。

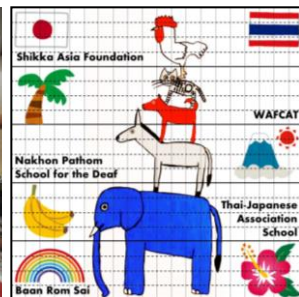
※世界一大きな絵プロジェクト：<http://www.bpw2020.com/ja>



シーカーアジア財団にて全員でパチリ♪



創作の様子



完成予定図

ツアーではこの部分を描きました

[4] インドネシア デイリーヘルスケアトレーニング実施（10/25-26、11/8-9） ～障がいを持つ子どもたちとその保護者、先生を対象に行いました～

10月上旬に実施した『学校バリアフリー化支援プログラム』の一環として、障がい児や保護者、教員を対象とした衛生管理・健康促進に関するトレーニング、WAFCAIの車いすを使用する家族と地域の支援者（ソーシャルワーカー・保健師）を対象とした障がいの種類とケア方法に関するセミナーを実施しました。このプログラムによって、家庭や学校で障がい児の健康を増進させる取組みが継続的に行われること、そして障がい児の家族が地域の中で孤立せず、助け合える関係ができていくことを目指しています。



歌と共に手洗いの練習をする児童



脳性まひについて学ぶ母親たち



グループワークに取り組む保健師